

# 星屑

VOL. 242  
May '95



熊本県民天文台

# 第25回彗星会議

T. Adachi

星屑上で何度も予告されていた「第25回彗星会議」が3月25日(土)、26日(日)の両日熊本商工会議所ビルにおいて開催されました。

会議の準備その他の状況はKCAOネットに随時掲載します ということだったので何かお手伝いできることがあるかな、いや、どうせ私に出来るのは受付ぐらいのものだろうと思いつつときどきのぞいていましたが全くないので少し心配になりました。

あとになって、実行委員代表の高田さんはお仕事が非常に忙しくて当日の朝まで東京にいたということを知りました。

12時半頃会場の大会議室に着くと小林Mさんと国吉さんがすでに受付をしていたので私は会場に入りました。(受付を代わっても良かったのですが喫煙所のそばだったのであまりいたくなかったのです)

## 日 程

3月25日(土)

13:00 開会行事

13:30 記念講演1 シューメーカー・レビー彗星の木星衝突について  
渡部潤一(国立天文台)

15:00 全体会1 研究発表ほか

19:30 懇親会 新ときわ

3月26日(日)

9:30 記念講演2 彗星観測の現状と特異小惑星について  
中野主一(OAA)

10:30 全体会2 最近の彗星界から

・SL-9のFAQ 山岡 均(九州大学)

・IAUで決まった新しい彗星の符号について  
富田弘一郎(AES)

・ICQの電子フォーマット 中村彰正(久万天文館)

・1995年度の彗星軌道カタログに初めて掲載された彗星  
長谷川一郎(OAA)

・熊本の天文台紹介 熊本県民天文台、ムーイ天文台、  
清和高原天文台、南阿蘇ルナ天文台

11:30 閉会行事

参加者は両日併せて71名（内県民天文台の会員23名）でした。25日は熊本の桜の開花予想日でしたが冷え込みで遅れていました。熊本—九州—暖かいと思って参加した人たちはみんな「熊本は寒い」とこぼしていました。

やはり準備不足はあったようでマイクから声が出なかったりビデオデッキの手配が遅れたりとハプニングはありましたが無事に会議は進んでいきました。ただ、25日の17時くらいに記念撮影が終わってから懇親会が19時半に始まるまでの間、たまたま私たちが入った喫茶店に軽食が無かったせいでもあり空腹をかかえて時間を潰すのが大変でした。

残念ながら会議の内容そのものはわからないことも多かったのですが（内容について詳しく知りたい人は前の方でしっかりと聞いていた高田さんや艶島さんに聞いてください）私は会場や懇親会でずーっと前の彗星会議以来何年ぶりという人や、どこかのアストロプラザでのじゃんけん大会で双眼鏡を競り合ってた人とかにお会いして話しがはずみました。

天文台のメンバーを見ているとせっかく遠くからいろいろな人が来ているのにみなさん内気で遠慮深いのか身内ばかりで固まって盛り上がっている人の方が多かったように思います。こんな機会に世界を広げることも大切なのではないのでしょうか？

26日、無事に会議が終了してから富田先生や渡部先生、天文ガイドの秋元さんら約十名が県民天文台の見学に訪れました。私は行っていないのでこれからは又聞きです。

望遠鏡その他を見ていただいているいろいろと好評だったそうです。どなたかは知らないけれど「前の建物は観測所だったけど今度のは天文台だね」という発言もあったそうです。

会議は終わりましたがまだ事務上の後始末が残っていることでしょう。県民天文台だけの問題ではないのでいろいろと大変だと思いますが実行委員に入っている方、よろしくお願いします。



## COMET PAGE

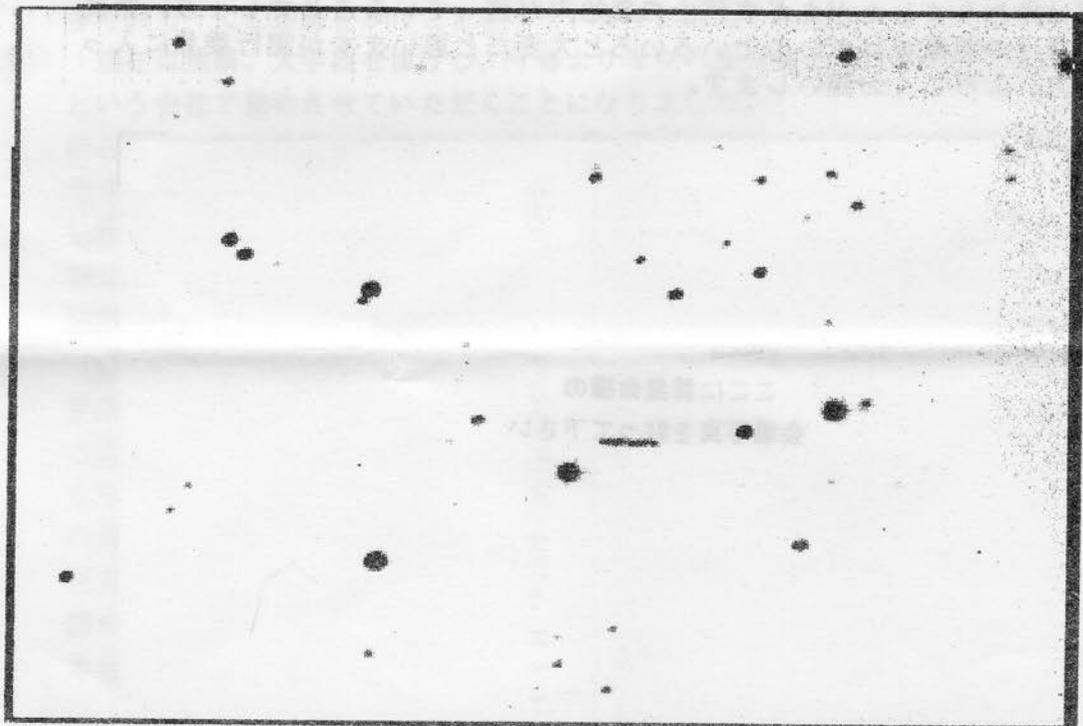
by Porco Nisse

このページを始めてからというもの、ちっとも明るい彗星が現れてくれません。3月も終わろうしているこの時期に、まだたった1個しか発見されていないというのは、困ったものです。仕方がないので、今回も小惑星の話題からです。

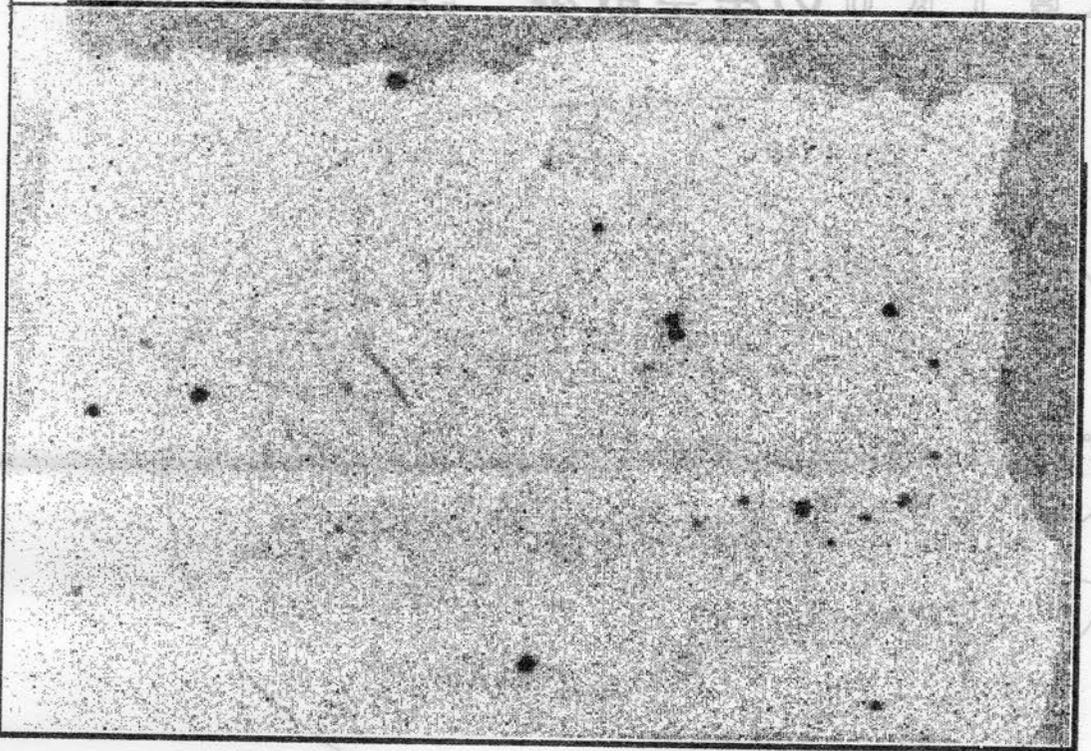
群馬県の小林隆男氏は、かなり前からCCD+パソコンで小惑星の自動掃天を実行しています。3月7日と11日の記録に、彼は動きの奇妙な17等の天体を発見しました。小惑星は、通常いわゆる火星と木星の間にある小惑星帯を離心率の小さな楕円軌道で運行していますから、同じ空域の小惑星はほとんど同じような動きをするものなのです。軌道計算者として知られる彼は、早速この天体の軌道を求めてみました。すると楕円より放物線に近い軌道を描いているように思えたのです。放物線軌道の小惑星なんて今まで存在しませんでしたから、これは変だと追跡観測が開始されました。

3月13日、KCAOのCCDカメラは16.5等のこの天体を捉えました。もちろん、国内の観測者も多数この天体を同夜観測していました。こうして、7日から13日の観測で、この天体は離心率0.8で太陽に0.5AUまで近づく周期3.4年のアポロ型小惑星と判明し、1995EK1という仮符号が与えられました。

賢明な読者はお気づきでしょうが、アポロ型小惑星の軌道は彗星の軌道とよく似ています。これらの天体は特異小惑星と呼ばれるもので、通常の小惑星とは別の起源を持つ



△ 1995EK1 1995年4月4日20時18分14秒～20分14秒 14等



ものではないかと考えられています。KCAOのCCD画像では、シーイングの良いフレーム上のこの天体は恒星状でコマは認められません。現状では小惑星ですが、だからといってコマを作って彗星に化ける可能性は否定できません。

この星は、4月上旬に地球に0.09AUまで接近しますから、今後も注意したい天体です。ただし、標準等級が18等以下という小さな天体ですので眼視的にもおもしろい天体でないのが残念です。なお、長谷川先生(神戸市)によれば、この天体を起源とする流星群が4月と10月に出現する可能性があるとのこと。

最近特異小惑星の話題が新聞紙上などに載るようになりました。地球に近づく天体ということは、地球に衝突するかもしれない天体と同義語なのですから・・・ね。静かなような星空もこうしてみると、結構わくわくするようなにぎやかな舞台なんですよ。

[P.S. おまけ]

1995EK1を追跡観測している最中に、CERGA(フランス)で発見されたFMO(高速移動天体の略です)の情報もたらされました。1日に7度以上動くという天体です。今回は、星屑原稿締切間際の両天体の画像を掲載しました。

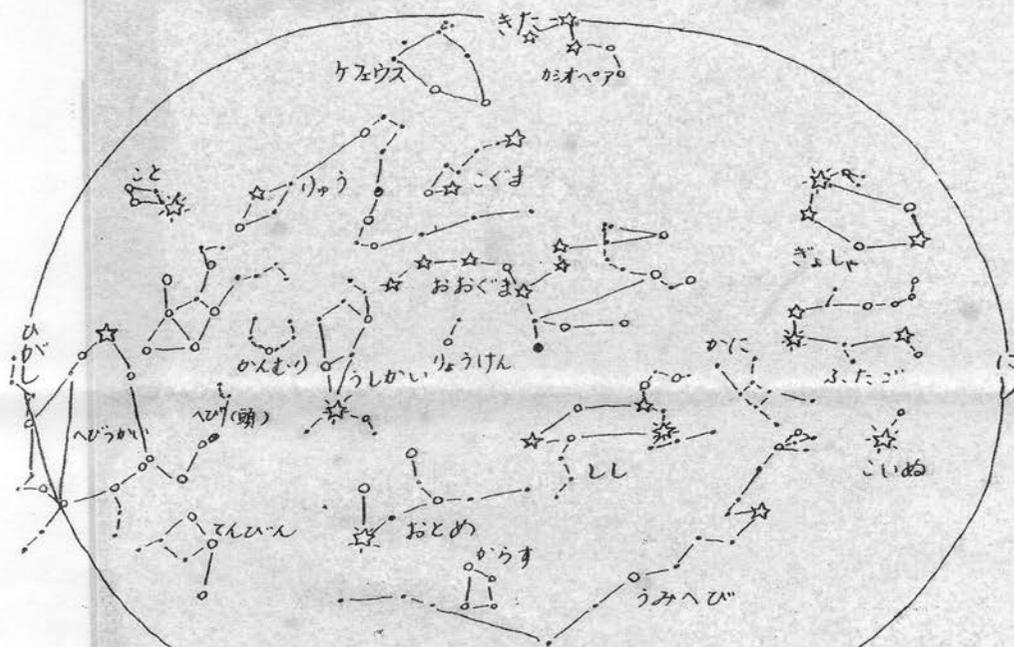
CCDカメラの威力ですね、こんなに早く動く16等の天体をきちんと捉えることができます。赤道儀の追尾不良で軌跡が曲がって見えるのは、ご愛嬌です。^^;

1995EK1は、上記の観測までの間見事な小惑星状ですので、普通のアポロ型天体と言って良いようです、残念ですが・・・。同時期にもう1個、ESO(オーストラリア)でFMOが発見されましたが、赤緯が低く気流の影響で星像がぼけて暗い星が写らず観測不能でした。あーあ、やっぱり明るいホーキ星の無い夜はつまらないなあ。

# Keikoの星空散歩

5月上旬 ☆ 午後9.00頃

5月下旬 ☆ 午後8.00頃

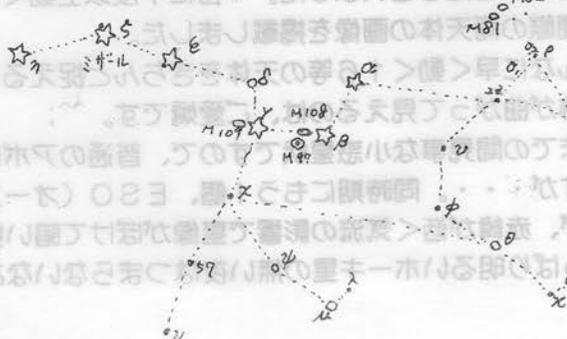


みんみ

★ 1等星 — ☆ 2等星 — ○ 3等星 — ● 4等星以下  
 星座ピク・アップ☆☆☆おおぐま座 (Ursa Major...UMa)

もう、何度も登場したおおぐま座ですが、誰でも知ってる北斗七星を含んでいるので、すぐに見付かるでしょう。  
 月の女神アルテミスの呪いで美しいカリストは熊の姿に変えられてしまいました。この北斗七星には、目の良い人なら肉眼でも判るミザールがあります。望遠鏡で見るともう一つ星が見え、ミザールのすぐ脇にも黄緑色の星が見えます。

星雲星団では、系外星雲のM81とM82、M101・M108・M109や惑星状星雲のM97があります。M97は二つのガスの薄い所が丁度目の様に見えるので、「ふくろう星雲」と呼ばれています。

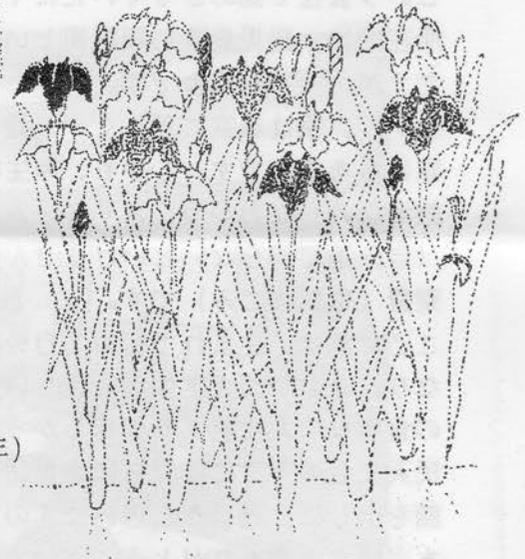
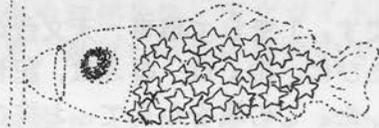
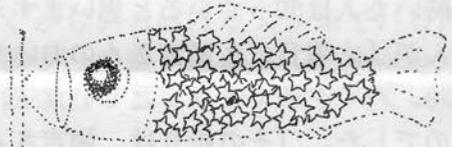




## 5月の天文現象&行事



- 2日 八十八夜
- 3日 月が最遠 (405919Km) 月が最北 (+19° 22')
- 5日 フィンレイ周期彗星が近日点通過 (6.95年)
- 6日 みずがめ座  $\eta$  流星群が極大
- 8日 トークアバウト 上弦 (06:44)
- 12日 水星が東方最大離角 (21° 34')
- 15日 満月 (05:48)
- 16日 月が最近 (358048Km)
- 17日 月が最南 (-19° 23')
- 21日 熊本県民天文台総会 (13:30~)  
城南町福祉センター2F、視聴覚室  
城南町役場の隣です。駐車場を完備  
下弦 (20:35)
- 22日 土星の環が消失
- 25日 火星とレグルスが接近 (01° 01.2')
- 29日 新月 (18:27)
- 30日 月が最遠 (406517Km) 本年最遠  
月が最北 (+19° 25')
- 31日 クラーク周期彗星が近日点通過 (5.51年)



KUNI★

# 熊本を離れるにあたり

宇都哲弘

私は、ほぼ5年半ぐらい前から天文台の運営委員させていただいた者ですが、ここ2年はほとんど天文台に顔を出さなかったもので、私のことをよく知らない人もいると思いますので、簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は平成元年に、熊本大学理学部物理学科に入学し、熊大天文研究会に入部しこの天文台に来るようになったのです。そして、その年の12月に天文台の運営委員として、水曜日を担当させていただきました。何故、水曜日だったかとゆうと当時いた人は知っていると思いますが、その当時國吉さんは、水曜日担当で、Kさんが「水曜日だと國吉さんのおいしい手料理が食べれるよ」と、言う言葉に、当時、バイクのローンで乏しい食生活をしていた私は、迷わず水曜日に決めていたのでした。（その折りは、國吉さんに大変お世話になりました。とても美味しかったです。）そして無事、天文台の運営委員になった私は、いろんな宴会に出席するたびに、泣くは、叫ぶは、記憶は失うはで、大変多くの方にご迷惑をおかけしました。この場をかりて、お詫び申し上げます。

そんなこんなしながら、3年半はまじめ(?)に運営に行っていましたが、2年ほど前から、運営どころか天文台にもあまり顔を出さなくなって、これもまた多くの方々にご迷惑をかけたと思っています。重ねてお詫び申し上げます。

現在は無事、大学院を修了し、今春よりヤマハ鹿児島セミコンダクタ株式会社という会社で勤めさせていただくことになりました。

所在地は、鹿児島県の栗野町という、城南町が大都市に見えるほど（少し大げさですが・・・）田舎です。

しかし、寮は非常に美しく、6畳程度の個室で電話、エアコンが付き、風呂は各寮にもあるのです。しかも、厚生棟という所に、サウナ付きの大浴場（その辺の銭湯なみ）なおかつ、AVルームという名のカラオケルーム、カウンターバー

（自分達で作らないといけません・・・）があり、3食付いて、3万円程度の寮費（電気代こみ）です。

ここで私は、生まれて初めて自分の部屋に、エアコンのある生活が出来るようになり、なおかつ大学生生活の乏しい食生活から開放されることになりました。（寮の食事は熊大生協より美味しかった）結局私は6年間熊本で過ごしましたが、県民天文台の方々には非常にお世話になりました。これからも、たまには天文台に顔を出しに、行こうと思いますので、その時は、宜しく願います。

本当に6年間ありがとうございました。

# ～'95年04月天文台運営日誌より～

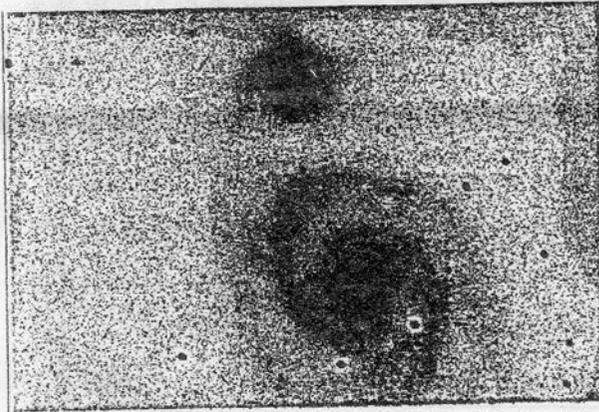
・開台率：10/31=32.3(%)

・来台者数：45人(お客さん)+5人(会員)+71人(彗星会議)

日付	天気	来客数	運営	記事[会員利用者](日誌記入者)
02(木)	晴	0人	長谷	ずい分長い間わたしの担当日にはお客さんが来られないような気がします… (長谷)
05(日)	晴	8人	艶島、甲斐 小林 <sub>M</sub>	月、M42、シリウス、火星、ミザール [小林 <sub>J</sub> ](甲斐)
07(火)	晴	0人	藪田、岩永	火星、M102、M96、月。少しもやあり。 [小林 <sub>J</sub> ](藪田)
12(日)	曇り晴	0人	艶島、小林 <sub>M</sub>	ほとんどドン曇りの状態。お客さんは誰も来ない。今日はものすごい黄砂で空も真っ黄色。車も泥だらけ。 (小林 <sub>M</sub> )
16(木)	曇	0人	松野	夕方晴れたので、急いで来ると、曇り！月が時々見えるだけでした。 (松野)
18(土)	晴	11人	木村、高田 永井、中尾	火星、M42、M67、リゲル、プレセペ、シリウス、ベテルギウス (木村)
19(日)	晴	2人	艶島、甲斐	火星、M41、M42、M1、シリウス、ミザール、リゲル。火山灰、黄砂で透明度悪し。車も真っ白。 (甲斐)
20(月)	曇	—	—	星屑No.241の発行。
26(日)	晴	17人	小林 <sub>M</sub>	火星、シリウス、リゲル、M42、M45 [小林 <sub>J</sub> ](小林 <sub>M</sub> )
28(火)	曇り晴	5人	藪田、岩永	火星、M51、M104。CCDはすごい！ [小林 <sub>J</sub> 、石田](岩永)
31(金)	霞	2人	西嶋、国吉	M42、火星、プレセペ、シリウス、M46、M36。ほんっとにシーイング(星の見え具合)が悪かった。2等星がやっと見えるくらい。あれで(天体を)探せて言われてもなあ。 (西嶋)
25(土)	—	—	艶島	第25回彗星会議が熊本商工会議所にて開催さる。全国から多数の方の参加者があり賑わう。 詳しくは本文参照。
26(日)	—	—		

桜の時期も過ぎようとしています（原稿を叩いていたときはそうだった）皆さんの所では、いかがでしょうか。私の会社の花見は夜にあったのですが、そんなに寒くなく、じつにタイミングの良い花見になりました。いやー、しかしここんどこ私ばかりの話で、皆さん飽きてきませんか？ そんな皆さんのために、宣伝？を一つ。

天文台に遊びに来ませんか？ 何故って、CCDカメラが大活躍しているのですヨ。難しいことはよくわかりませんが、コロコロ？（だれ、コロコロはおまえだ、って言っているのは、）ポロポロと星雲などが写るのです。写真も確かに良い。でも、CCDカメラも面白い。両方使えればもっとすごい。てなわけで、私が撮った写真をプリントアウトしてみました。



準備などはPorco氏でやっていたので、私は撮るだけでした。上弦の月夜で、露出は、たったの2分。普通のプリンタなので、どこまで出るか楽しみです。どうです、M51。プリントではどうだかわかりませんが、画面ではバッチリ写っていました。だって拍手ものだったんですよ。これを

一部の人だけ使うのもったいないでしょ。で、使ってみたわけですよ。たった2分ですよ。さあ、天文台に来て、あなたもCCDカメラ使ってみませんか？。近々CCDカメラの講習会も開かれるとか。次は、天文台でお会いしましょう。

アマチュア無線のコールサイン届きました。JP6KAJです。天文台に行く途中に、時たまCQ出してます。（なかなか皆さん取ってくれない）家ではハンディ機でワッチしています。だれか呼んで下さい。お話しませう。

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1995年5月号 通巻242号

発行所 熊本県民天文台 〒861-42

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

熊本県民天文台事務局 〒860 熊本市古京町3番2号

熊本市立熊本博物館内

TEL 096-324-3500

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作